一般質問

★ホームページの積極的な発信を①リンク切れや新着情報がある等の現状課題と住民からの意見は。

チェックを徹底し、課題が回避できる体制を構築します。住民からの意見は特に寄せられていません。

②アクセスの解析は。

把握していますが、詳細な分析や解析までは行っていません。今後も情報発信力の強化に努めます。

③住民や若手職員、専門家の活用で改善計画を。

誰でも必要とする情報に簡単にたどりつけ、利用できるように努めます。

④スマートフォンやフェイスブック等のSNSの活用を。

セキュリティの確保を行った上で、積極的な情報発信につながるよう活用します。

★行政情報を使いやすく①現行計画や会議録のホームページ掲載を。

各課で掲載している計画もあ

りますが、全てではなく、今後は策定した計画は掲載していきます。会議録は総合教育会議以外は掲載していません。

②審議会等の資料・議事録も掲載を。

公開可能な審議会や議事録等も掲載します。

③図書館・公民館でも行政情報をまとめ、手に取りやすい工夫を。

図書館では冊子になった計画書は書架に並べていますが、今後は行政情報コーナーを設置します。各公民館も同様に行政情報の配置に努めます。

★ごみ収集について①分別と出し方が変わって1年8ヶ月経過したが、ごみ量とリサイクル率の変化は。

ごみの総排出量は3,604トンで前年度対比は15トン減少、リサイクル率は13・35パーセントで1・98ポイント上昇しました。

②リサイクル率をあげ、ごみの減量を進める対策は。

一般廃棄物処理基本計画を策定し取り組んでいる中で、リサイ

クルごみの分別の徹底、生ごみの堆肥化や減量化、資源回収団体の育成強化等に努めます。

③ふれあいと助け合い収集が必須では。

地域住民や専門職が一緒になって地域の課題解決を図る地域ケア会議を設置し、生活応援隊の養成講座の開催やごみ出しも含め、支援を必要とする人を地域で支える取り組みを進めていきます。

★医療体制の整備について①民間病院・開業医の施設に対して町の支援策は。

現在、民間医療施設に対しての施設整備に関する補助金はありません。

②鏡野病院の南病棟が建築後30年経過するが建物・設備の改築や修繕の予定は。

本年度は57件、約460万円の医療機器・施設、設備の修繕を行っています。

改築の要望もありますが、建築当時、国庫補助金で建設のため、定められた耐用年数の関係があり、必要な修繕工事を行い運営していきます。

③鏡野病院の患者からの改善要望は。

院内4カ所に意見箱を設置する中、職員への感謝や苦情、眼科・歯科の設置要望、病棟内でのおいや外来の待ち時間の苦情等です。

④外来診療の待合にモニター設置し、町の情報発信を。

患者さんと呼ぶ際、名前が聞こえにくいため、静かに待っていただき、新聞、雑誌、漫画、絵本、広報紙等設置しています。

⑤インフルエンザ等感染症対策の一環として、診察待合を別に設ける等の工夫は。

流行期には発症の疑いがある方にマスクを配布し、問診終了後、電話番号を聞き車内で待機する措置もしています。

★防災の取り組みについて①町が行う自主防災意識を高める取り組みは。

広報紙や有線テレビの活用、町職員等による出前講座の実施があげられます。

②身近に学べる取り組みを。

親子で防災学習ができるよう来年度予算要求に向けて準備しています。

③町南部の指定避難場所には、河川氾濫時その河川を渡らないといけないといった課題の検証は。

災害の種類によっては必ず安全な避難場所であるとは限らず、町では現在、災害の種類ごとに「指定緊急避難場所」を指定する作業に取り組んでいます。

★サイクルツーリズム事業について町長の所感を。

地域活性化と直接結びつく

思い、県のサイクリングロード推進協議会に設立当初より参画し、岡山鏡野縦断ルートや3つのサブルートの決定を行っています。

今後関係機関と協力し、各世代のサイクリスト対象のイベントにも積極的に取り組み、健康をキーワードとして農林業・観光との連携だけではなく新発見の観光資源との連携を模索し、「健康のまち鏡野」を進めます。

★岡大・町・原子力機構との三者間連携協力協定について①ウランのふる里研究エリアの基本構想の進捗状況は。

「中性子医療基礎研究施設」は岡山大学でプラン固めをしています。「ウラン研究所」は機構に運営を依頼したことから、人形峠センターで具体的検討作業を行い、来年度から文科省、機構、町で事業費や運営を含めた協議を行っています。

②中性子医療研究所は岡山大学が中心で運営される構想だが、町の財政的関与は。

現段階では関与の度合いは話せる段階ではありませんが、町の活性化や経済効果の見込みから最低限、用地は確保していく必要があります。

③ホウ素中性子補足療法(以下BNCT)という最先端の治療方法を研究する構想だが、設備投資に耐えるか。

事業主体が決まらなければ答